

テーマ：北方領土（実践校）

十勝管内 足寄町立大誉地小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する誇りや愛着を育むため、総合的な学習の時間において、北方領土の地理や歴史と現在の状況について調べる学習を位置付けるとともに、映画「ジョバンニの島」の視聴や元島民の語り部による講話を通して、北方領土と北海道の関わりについて探究的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

地域の人々に「ふるさと」とはどういうものかについて、聞き取り調査をしたり、考えたりする活動を通して児童個々の課題を焦点化し、自分達にとって身近な北海道や北方領土について課題を設定しました。映画「ジョバンニの島」を視聴し、北方領土の歴史や島民の気持ちについての興味・関心を高め、北方領土について知りたいことを全体で話し合い、調べてみたい学習課題ごとにグループを設定しました。

(2) 情報の収集

「住民の生活」「自然」「歴史」「返還運動」の4つのテーマを設定し、グループごとに調べ学習を行いました。「住民の生活」グループは、それぞれの島の人口、文化等について、「自然」グループは、島に住む動植物及び各島の産物について、「歴史」グループは、領土問題の原因、現在、未来について、「返還運動」グループは、返還運動の経緯、活動内容、元島民の暮らしぶりなどについて、1人1台端末及び町民図書館の図書を活用し、調べ学習を行いました。

(3) 整理・分析

各グループの課題について、集めた情報の整理・分析を行い、「北方領土の豊かな自然」「島を出ることになった時の島民の方々の悔しさや悲しみ」などについて理解し、北方領土と北海道との関わりについて考えました。

(4) まとめ・表現

学習の成果として、1人1台端末を活用してレポートを作成し、実践発表会を行いました。また、元島民の語り部を講師として招聘した際に、レポートを講師に紹介するとともに、北方領土での生活や脱出時の様子、北方領土への思いなどに関する体験談を通じて、北方領土についてさらに関心を高めることができました。



【調べ学習の様子】



【実践発表会の様子】



【語り部授業の様子】

②児童の感想等

- ・自分がふるさとを奪われたら、とても悔しく悲しいと思います。
- ・北海道と北方領土の生き物の違いについて、さらに調べたいと思いました。
- ・北方領土の歴史について調べたことを通じて、これからの北海道と北方領土の関係など、さらに調べていきたいと思いました。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 学習後のアンケート調査では、「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心がある。もしくは、どちらかというに関心がある。」と回答した児童の割合が67%から89%に、「北方領土の自然や歴史、領土の返還について調べたいと思う。」と回答した児童の割合が0%から22%に、「北海道や自分たちの住んでいる地域は、好き。」と回答した児童の割合が56%から89%にそれぞれ増加するなど、探究的な学習を通じて、北方領土に対する関心、ふるさとに対する愛着や誇りを高めることができました。
- 北方領土に関する学習の充実に向けて、各教科等との関連を明確にし、語り部や映像資料等の活用を効果的に位置付けた指導計画の工夫・改善に取り組む必要があります。